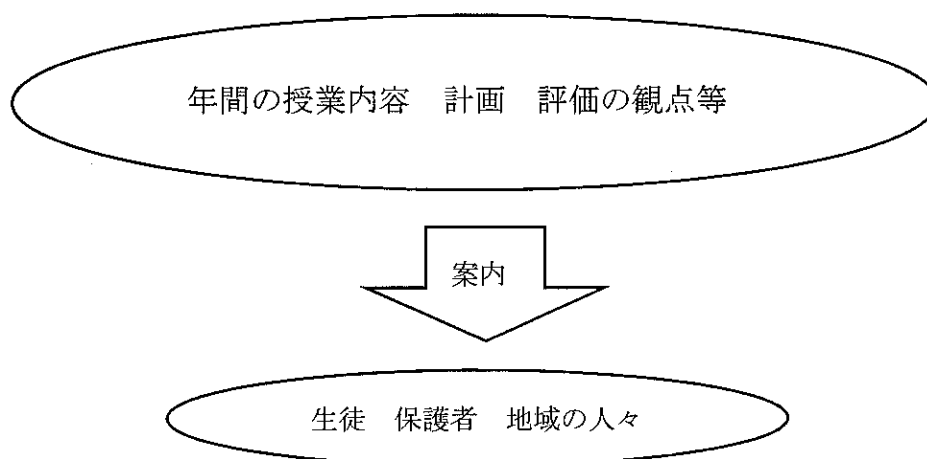


「学習案内」とは何か？



学習案内とは、学校で行われる授業などの年間の学習内容であり、教科の目標、内容、使用教材、学習計画、学習上のアドバイス、評価方法などをまとめたものです。これから、何を何のために、いつ、どのように学ぶかを知らせるものです。

学校として年間指導計画を保護者や生徒に示すことで、生徒の皆さんがこの1年間でどんなことを学習するのかがわかり、学習計画を立てる上で役に立ち、より意欲的に学習に取り組むための手助けとなります。また、各単元（章）ごとのねらいが前もってわかることで、生徒が何を頑張ればよいか、具体的に目当てをもつことができます。保護者にとってもお子様との対話のきっかけになります。学習を進める上で十分にご活用ください。

国語科 第2学年

1 目標

- 1 目標 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。

2 学習計画と内容

A【話す・聞く】 B【書く】 C【読む】

学期	学習内容 (単元名・教材名・学習教材など)	学習を進める上でのアドバイス
1	<ul style="list-style-type: none"> ・虹の足 ・タオル ・日本の花火の楽しみ ・活用のない自立語【知識・技能】 ・書写 硬筆【知識・技能】 ・新聞の投書を書く ※夏季課題 ・話し言葉と書き言葉【知識・技能】 ・敬語【知識・技能】 ・メモを取り、質問の意味を理解する ・漢字の広場 	<p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> A・社会生活の中から話題を決め、伝える内容を考えよう。 B・伝えたいことが分かりやすく伝わるように構成を工夫して書こう。 C・文章と図表などを結びつけて読もう。 ・登場人物の設定の仕方などを考えて読もう。 <p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉と書き言葉の特徴、敬語の働きを考えて使おう。 ・活用のない自立語の使い方を理解しよう。 ・字形を整え横書きに応じて書こう。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・根拠をもとに意見文を書く ・活用のある自立語【知識・技能】 ・敦盛の最期「平家物語」 ・随筆の味わい「枕草子」「徒然草」 ・二千五百年前からのメッセージ 孔子の言葉 ・短歌の味わい ・夏の葬列 ・書写 書き初め【知識・技能】 	<p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> A・互いの立場や考えを尊重しながら話し合おう。 B・根拠の適切さ、具体例を加えて書こう。 C・古典の考え方を知り、朗読しよう。 ・複数の情報を整理しながら読もう。 <p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活用のある自立語の使い方を理解しよう。 ・行書の筆使いや形に注意して書こう。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイアの知性 ・学ぶ力 ・付属語のいろいろ ・走れメロス ・類義語・対義語・多義語・同音語 ・漢字の広場 	<p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> B・読み手を考えて文章を書こう。 C・文章を読んで考えたことを自分の経験に結び付け、考えを広げよう。 <p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・付属語の使い方を理解しよう。 ・類義語・対義語・多義語・同音語を理解しよう。

3 観点別の評価方法(各観点の評価方法)

観 点	評価の資料
知識・技能	漢字・語句・文法・古典に関する知識・書写の実技作品・テスト等
思考・判断・表現	<p>A スピーチや発表・発言の内容・聞き取り・テスト等</p> <p>B 感想文・意見文・テスト等</p> <p>C 授業中のノート等の表現・内容等・テスト等</p>
主体的に学習に取り組む態度	授業への取り組み・発言・課題設定への意欲・ノート等内容・提出物の状況等

社会科 第2学年

1 目標

- (1) 歴史に対する関心を高め、近世以降の日本の歴史の大きな流れと各時代の特色を、世界の歴史と関連づけて捉えよう。
- (2) 地理に対する関心を高め、世界から見た日本の地理的特色や日本の諸地域について、多面的・多面的に理解しよう。
- (3) 地理的分野、歴史的分野ともに、地図・グラフ・統計資料・年表、写真などの資料を活用した情報を読み取る力や、資料から読み取った情報を基に思考し表現したりする力を育てよう。また、学習内容をレポートなどに効果的にまとめよう。
- (4) 自分の学習状況を振り返ったり、評価したりすることで、主体的に学習に取り組む態度を身に付けよう。

2 学習計画と内容

	単元名・教材名	学 習 内 容	学習を進めるうえでのアドバイス
1 学 期	【歴史的分野 第4章】 1節 ヨーロッパ人との 出会いと全国統一	中世ヨーロッパとイスラム世界、ルネサンスと宗教改革、ヨーロッパ世界の拡大と出会い、信長・秀吉の統一事業、兵農分離と秀吉の対外政策、桃山文化	織田・豊臣統一事業を通して新しい安定した社会が生まれ、その社会が長く続いたという大きな時代の流れを理解しよう。
	【歴史的分野 第4章】 2節 江戸幕府の成立 と対外政策	江戸幕府の成立と支配の仕組み、さまざまな身分、貿易の振興から鎖国、鎖国下の中国・朝鮮・琉球・アイヌとの関係	安定した支配のための江戸幕府の政策や人々の活躍を探究しよう。
	【歴史的分野 第4章】 3節 産業の発達と 幕府政治の動き	農業や諸産業、都市、交通路の発展、幕府政治の安定と元禄文化、享保の改革、田沼の政治と寛政の改革、新しい学問と化政文化、外国船の出現と天保の改革	江戸時代の文化の特徴を理解しよう。幕府による三大改革の違いを理解し、改革がなぜ必要であったのかを考える等、因果関係を考えよう。
2 学 期	【地理的分野 第3編】 第1章 地域調査の手法	調査の準備、野外観察・聞き取り調査、資料を使った調査、調査のまとめ、調査結果の発表	縮尺、方位、等高線、地図記号などの地形図の約束について、その知識を身につけ、実際に活用できるようにしよう。
	【地理的分野 第3編】 第2章 日本の地域的特色 と地域区分	地形、気候、人口、産業、交通・通信から見た日本の特色、自然災害と防災、日本を地域区分しよう	日本の国土に対する関心を高め、日本の地域構成や産業の基本的な枠組みをとらえる活動に意欲的に取り組もう。世界の中の日本を大観し、各産業の特徴を大まかにとらえ、理解しよう。
	【地理的分野 第3編】 第3章 日本の諸地域	九州地方、中国・四国地方、近畿地方、中部地方、関東地方 東北地方、北海道地方	各地域の特色を自然環境、人口、都市・村落、産業、文化、他地域との結びつき、歴史的な背景、環境問題に注目して、テーマをもって追究しよう。
	【地理的分野 第3編】 第4章 地域の在り方	身近な地域の課題を見つける、課題を調査する、要因を考察する、解決策を構想する、地域の将来像を提案する	「SDGs」を踏まえて、私たちの地域にはどのような課題があり、どのように解決すべきかを考えて、まとめよう。
3 学 期	【歴史的分野 第5章】 1節 欧米における 近代化の進展	イギリスとアメリカ革命、フランス革命、ヨーロッパにおける国民意識の高まり、ロシアの拡大とアメリカの発展、産業革命と資本主義	欧米の市民革命、産業革命とアジアへの侵略的進出の因果関係を理解しよう。
	【歴史的分野 第5章】 2節 欧米の進出と 日本の開国	欧米のアジア侵略、開国と不平等条約、開国後の政治と経済、江戸幕府の滅亡	江戸幕府の混乱と、新しい時代を目指す人々の動きを理解しよう。
	【歴史的分野 第5章】 3節 明治維新	新政府の成立、明治維新の三大改革、富国強兵と文明開化、近代的な国際関係、国境と領土の確定、領土をめぐる問題の背景と領有の歴史的な経緯、自由民権運動の高まり、立憲制国家の成立	明治政府の方針や諸改革、外交政策について理解しよう。自由民権運動や政党政治、憲法制定の過程から民主主義の芽生えについて理解を深めよう。

3 観点別の評価方法

	観 点	評 価 の 資 料
①	知識・技能	確認テストや定期テストなど。基本的な内容の理解。資料の読み取りや作成。
②	思考・判断・表現	定期テスト、授業の発言内容、ノート・プリントの記述内容など。
③	主体的に学習に取り組む態度	ノートやレポート等の記述内容、授業中の発言内容など。

数学科 第2学年

1. 目標

- (1) 文字を用いた式について、目的に応じて計算したり変形したりする能力を養うとともに、連立二元一次方程式について理解し、それを用いる能力を培う。
- (2) 基本的な平面図形の性質について、観察、操作や実験を通して理解を深めるとともに、図形の性質の考察における数学的な推論の意義と方法を理解し、推論の過程を的確に表現する能力を養う。
- (3) 具体的な事象を調べることを通して、一次関数について理解するとともに、関数関係を見いだし表現し考察する能力を養う。
- (4) 不確定な事象を調べることを通して、確率について理解し用いる能力を培う。
- (5) 箱ひげ図について、既習事項をもとに考え、四分位数や箱ひげ図の必要性和意味を理解する。

2. 学習計画と内容

学期	学習内容 (単元名など)	学習を進める上でのアドバイス
1	1章 式の計算 1節 式の計算 2節 文字式の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な整式の加法、減法及び単項式の乗法、除法の計算ができるようにしよう。 ・文字を用いた式で数量及び数量の関係をとらえ説明ができるようにしよう。 ・目的に応じて式を変形することができるようにしよう。
	2章 連立方程式 1節 連立方程式 2節 連立方程式の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・二元一次方程式とその解の意味を理解できるようにしよう。 ・連立方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解できるようにしよう。 ・連立方程式を解くこと及びそれを具体的な場面で活用できるようにしよう。
	3章 一次関数 1節 一次関数とグラフ	<ul style="list-style-type: none"> ・事象の中には一次関数としてとらえられるものがあることを知ろう。 ・一次関数の表、式、グラフを相互に関連付けて理解できるようにしよう。
2	3章 一次関数 2節 一次関数と方程式 3節 一次関数の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・事象の中には一次関数としてとらえられるものがあることを知ろう。 ・一次関数の表、式、グラフを相互に関連付けて理解できるようにしよう。 ・二元一次方程式を、数を表す式とみることができるようになろう。 ・一次関数を用いて具体的な事象をとらえ説明できるようにしよう。
	4章 図形の調べ方 1節 平行と合同 2節 証明	<ul style="list-style-type: none"> ・平行線や角の性質を理解し、それに基づいて図形の性質を確かめ説明できるようにしよう。 ・多角形の角についての性質を見いだすことができるようにしよう。 ・平面図形の合同及び三角形の合同条件について理解できるようにしよう。 ・証明の必要性和意味及び方法を理解できるようにしよう。
	5章 図形の性質と証明 1節 三角形 2節 四角形	<ul style="list-style-type: none"> ・三角形の合同条件などを基にして、三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり、図形の性質の証明をもとに新たな性質を見いだしたりできるようにしよう。
3	6章 場合の数と確率 1節 場合の数と確率	<ul style="list-style-type: none"> ・確率の必要性和意味を理解し、簡単な場合について確率を求めることができるようにしよう。 ・確率を用いて不確定な事象をとらえ説明できるようにしよう。
	7章 箱ひげ図とデータの活用 1節 箱ひげ図	<ul style="list-style-type: none"> ・四分位数を求めたり、箱ひげ図をかいたりすることができるようになろう。 ・箱ひげ図の必要性和意味を考えて理解しよう。

3. 観点別の評価方法

	観点	評価の資料
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ○授業中の取り組み（発表・問題演習の様子）など ○プリント ○定期テスト
②	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○授業中の取り組み（発表・問題演習の様子）など ○プリント ○定期テスト
③	主体的に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ○授業に取り組む態度、授業に対する意欲（発表・反応）など ○提出物（ノート・問題集・その他課題）など

理科 第2学年

1 目標

- (1) 生徒1人ひとりが目的意識をもった観察、実験を行うことにより、科学的に調べる能力を育て、科学的な見方や考え方を養う。
- (2) 日常生活との関連を図った学習を行う。自然環境と人間との関わりを重視した実験や観察を積極的に取り入れていく。

2 学習計画と内容

学期	学習内容	学習を進めるうえでのアドバイス
1	化学変化と原子・分子 33時間 ・物質の成り立ち ・物質の表し方 ・さまざまな化学変化 ・化学変化と物質の質量	「知識・技能」 ・分解反応、化合反応、還元反応、吸熱・発熱反応について理解するとともに、観察、実験などに関する知識と技能を身につける。 「思考力、判断力、表現力」 ・化学実験を通して、実験結果から科学的な見方や考え方ができるようにする。 「主体的に学習に取り組む態度」 ・物質がどこまで分解できるのか、化合できるのかに興味をもつ。 ・原子の組み合わせでさまざまな分子ができるのかに興味をもつ。
2	生物の体のつくりとはたらき 36時間 ・生物の体をつくるもの ・植物の体のつくりとはたらき ・動物の体のつくりとはたらき ・動物の行動のしくみ 地球の大気と天気の変化 35時間 ・地球をとり巻く大気の様子 ・大気中の水の変化 ・天気の変化と大気の動き ・大気の動きと日本の四季	「知識・技能」 ・植物も動物も細胞でできていることを常に意識しながら、各器官とそのはたらきについて理解する。 ・消化酵素の実験、刺激と反応実験などを通して、観察、実験などに関する技能を身につける。 「思考、判断、表現」 ・植物と動物の共通性について考え、規則性や関係性を見いだす。 「主体的に学習に取り組む態度」 ・植物と動物の共通性と種による多様性に興味をもつ。 ・体のつくりとはたらきについて興味を持つ。 「知識及び技能」 ・気象現象と日本の天気の特徴について理解する。 ・雲の観察、露点の実験、雲を作る実験、乾湿計の使い方、天気図の読み方、天気図の書き方などを通し、気象観測の仕方などを身に付ける。 「思考力、判断力、表現力」 ・空気の流れと気圧・気温の変化の関係を、雲のつき方と関連づけて考えることができる。 「主体的に学習に取り組む態度」 ・気象に関する事項に興味を持つ。 ・状態変化とはちがう水のふるまいについて興味をもつ。
3	電流とその利用 36時間 ・電流の性質 ・電流の正体 ・電流と磁界	「知識・技能」 ・静電気の実験、電流計・電圧計の使い方、回路の電流・電圧の測定、電流と磁界の実験を通して、電磁気に関する知識と技能を身に付ける。 「思考・判断・表現」 ・計測や実験を通して、電流、電圧、抵抗、電力、電力量などの関係性について考えることができる。 ・電子の流れを常に意識して考えることができる。 「主体的に学習にとり組む態度」 ・すべての物質が電氣的性質をもつことに興味をもつ。 ・電流と磁界には密接な関係があることに興味をもつ。

3 観点別の評価方法（各観点の評価資料）

	観 点	評 価 の 資 料
①	「知識・技能」	定期テスト、小テスト、レポートの実験結果、技能テスト 等
②	「思考・判断・表現」	定期テスト、小テスト、レポートの考察 等
③	「主体的に学習にとり組む態度」	定期テスト、授業中のようす 等

音楽科 第2学年

1 目標

- (1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を楽しく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる
- (2) 音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能をのばし、創造的に表現する能力を高める
- (3) 多様な音楽に興味・関心を持ち、幅広く鑑賞する能力をのばす

2 学習計画と内容

	学習内容（単元・節など）	学習を進める上でのアドバイス
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○校歌、語り合おう（歌唱） ○交響曲第5番ハ短調（鑑賞） ○混声合唱曲（歌唱） ○浜辺の歌（歌唱） 	<ul style="list-style-type: none"> ○正しい姿勢や音程で美しく歌おう。 ○交響曲の形式や作曲者について理解しよう。 ○パートリーダーを中心に積極的に練習しよう。 ・正しい音程・リズムで音取りをし、のびやかに歌おう。 ○日本歌曲の歌詞を味わって歌おう。
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○合唱コンクール自由曲（歌唱） ○「フーガト短調」（鑑賞） ○クラシックギター（器楽） 	<ul style="list-style-type: none"> ○指揮やピアノ伴奏に合わせ美しいハーモニーを作ろう。 ・クラスの仲間と合唱する喜びを感じ、曲を作り上げよう。 ・ハーモニーの美しさを感じ、響きのある声で合唱しよう。 ○バッハの音楽の雰囲気を感じ、その特徴を学ぼう。 ○ギターの音色をよく聴き、演奏しよう。
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○箏曲（器楽） ○展覧会の絵（鑑賞） ○卒業式に向けて「旅立ちの日に」（歌唱） 	<ul style="list-style-type: none"> ○箏の奏法を確認し、箏の美しい音色を響かせよう。 ○絵画と音楽の関係を考え、音楽の特徴を理解しよう。 ○三年生への感謝の気持ちを表せるように、心をこめて力強く合唱しよう。 ・パートリーダーを中心に主体的に練習に取り組もう。 ・詩情を感じ取り美しく豊かな表現を工夫しよう。

3 観点別評価について

	観点	評価の資料
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・パート練習、グループ練習や全体練習に対する積極性 ・実技テストの技能点数 ・定期テスト
②	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・美しく豊かな音色を目指し、表現を工夫しているか (プリントの記入内容) ・様々な音楽の特徴を意識して聴きとり、具体的な感想を述べることができるか (プリントの記入内容) ・実技テストの表現力の点数 ・定期テスト
③	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・授業準備（チャイム着席・忘れ物の有無） ・意欲を持って学ぶ姿勢（聴く態度・挙手・発言・パート練習） ・パートリーダーとしての積極性（練習時の取り組み）

美術 第2学年

1 目標

- (1) 主体的に美術に取り組み、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。
- (2) 対象を深く見つめる力、感性や創造力を一層高め、独創的・総合的なみかたや考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばす。
- (3) 自然、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を広げ、心豊かに生きることと美術との関わりに関心を持ちよさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。

2 学習計画と内容

学期	学 習	学習を進める上でのアドバイス
1	○「人体の印象と表現」…10時間 ・ドライポイント（凹版画）	【主体的に学習に取り組む態度】 ・ドライポイントの効果を生かして表現することに関心をもち、主体的に表現の構想を練ったり、線画の特性を生かしたりしようとしている。 【思考力・判断力・表現力】 ・対象を深く見つめ、感じ取ったことや考えたこと、想像や感情などを基に、表現の構想を練っている。 【知識及び技能】 ・ドライポイントの特性を生かし、自分の表現意図に合う表現方法を工夫している。 ・制作の順序を総合的に考え、見通しをもって表現している。
2	○「私だけが考える「鬼」～鬼瓦を創ろう～」…17時間 ・鬼瓦制作（粘土造形）	【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に表現しようとしている。 ・道具を安全に正しく扱おうとしている。 【思考力・判断力・表現力】 ・自らの生活へのまなざしをもとに豊かに発想できる。 【知識及び技能】 ・作品のモチーフを考え、観察ながらデザイン案を描くことができる。 ・用具や材料のよさを生かし作りたい形を創造的に制作できる。 ・素材や形の特徴を効果的に生かして表現する。
3	○「教室を美しく～ステンドグラスデザイン」…8時間 ・ステンドグラス制作	【主体的に学習に取り組む態度】 ・素直に基本を学ぼうとする。 ・楽しくデザインし進んで学習に取り組める。 【思考力・判断力・表現力】 ・基本を元に自分にあらわす形や色を豊かに発想し、単純化や強調しながら、構想を練る。 ・目的にそって効果的に色や形の構想を立てている。 【知識及び技能】 ・基本的なステンドグラスの使い方、特徴を学び描ける。 ・作品のデザイン、色のイメージなどデザインの基本の要素を生かし自分を表す文字や自分らしい形が豊かに表現できる。

3 観点別の評価方法（各観点の評価資料）

	観 点	評 価 の 資 料
①	【主体的に学習に取り組む態度】	・課題プリント ・授業中の態度、発問 ・適切な資料の準備
②	【思考力・判断力・表現力】	・作品における唯一点の発想、及び創意工夫（課題やテーマを踏まえた上での用具の使い方や形・色の見方、使い方など）
③	【知識及び技能】	・制作における用具の適切な使用の仕方や力加減など。

保健体育（中学1・2年）

1 学習のねらい

保健体育は、グラウンドや体育館・武道場などの体育実技と保健に関する学習を通し、課題解決能力と生涯にわたって、体力の保持増進と健康を維持する態度を身に付けます。また、実技教科なので、体を動かしての活動が基本です。

【目標】心と体を一体ととらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動を運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。

《1・2年》

- ◇運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、知識や技能を身に付け、運動を豊かに実践することができるようにする。
- ◇運動を適切に行うことによって、体力を高め、心身の調和的発達を図る。
- ◇運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たすなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動する態度を育てる。

2 学習の進め方

[1時間の授業では]

体育委員がリーダーとなり、用具の準備・片付け、体操・補強運動・二トロピ(自校体操)・集団走などを進めていきます。その後、本日のねらいの確認、内容に入っていきます。

[单元ごとでは]

- ① オリエンテーションにより、種目の選択や学習内容を確認する。
- ② グループやルールを確認し、練習やゲームの方法を学ぶ。
- ③ 実践を通し、個人や集団の課題を発見し、課題解決を図る。
- ④ 学習したことを自己評価し、課題解決の手立てを生涯スポーツや健康の維持に生かす。

3 評価の観点

- ◇運動や健康・安全への関心・意欲・態度〈運動に積極的に取り組み、健康・安全についての意欲的に学習しようとする態度〉
(例)・取組の様子(練習やゲームでの意欲)・出欠席・忘れ物・服装・提出物
- ◇運動や健康・安全についての思考・判断〈運動の仕方や取り組み方、組合せ方を工夫するとともに、健康・安全について考え、判断し、表現する力〉
(例)・学習個人カードの記録や内容・課題に沿った練習やゲーム、グループ活動の動き・安全への配慮
- ◇運動の技能〈運動の特性に応じた基本的な動きや技能〉
(例)・技能テスト(発表会など)・競技の記録・練習やゲームでの動き・
- ◇運動や健康・安全についての知識・理解〈生涯にわたって運動に親しむための理論及び健康・安全についての基礎的な知識〉
(例)・定期テスト・練習やゲームの進め方・ルールの理解

4 家庭での取組 ー技能効果を高めるためにー

- ・お風呂上がりに、毎日ストレッチをする。*ケガの予防となり、柔軟性も高まる。
- ・生涯にわたって健康を維持増進させるためにも、生活に運動を入れる。

(握力アップトレーニングのグーパーを20回×2セットや20分以上のランニングかウォーキングなど)

5 授業や学習に対するアドバイス

- ・欠席や見学が無く授業に参加することが大切です。
- ・忘れ物をせず、運動のしやすい服装(頭髪・クツつめなど)を心がけてください。
- ・どんなことでも全力投球で取り組む(力を出し切る・繰り返し何度でも練習する)。
- ・学習個人カードや振り返りのプリントをしっかりとめる。
- ・仲間と学び合い、応援したり、賞賛したりすることが大切です。

※第二東中学校の体育の合い言葉は『一生懸命はかっこいい!!』です。

6 年間の学習内容 ※感染症の関係や、天候などで学習内容が前後する場合があります。

1学期	学習内容		行事
4月	集団行動	授業の始め方、基本的な集団行動	身体測定 体育祭 学校総合体育大会
5月	新体力テスト	自分の体力を知る・向上を目指す	
5・6・7月	球技Ⅰ	ハンドボール	
	体育祭練習	二トロビ習得、集団走など	
6月中	水泳	クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、	
	保健	(1年)心身の機能の発達と心の健康 (2年)健康と環境	
2学期			
8月	球技Ⅱ	バレーボール・ソフトテニス・卓球・バドミントン	合唱コンクール 新人体育大会 市内駅伝
9月	陸上競技Ⅱ	走り幅跳び	
10月	器械運動	マット・跳び箱	
11・12月	武道・ダンス	柔道・剣道・創作ダンス・現代的なリズムのダンス	
11月中	保健	(1年)心身の機能の発達と心の健康 (2年)傷害の防止	
3学期			
1・2・3月	球技Ⅲ	バスケットボール・サッカー・ソフトボール	
2・3月	陸上競技Ⅲ	長距離走	
2月中	保健	(1年)心身の機能の発達と心の健康 (2年)傷害の防止	

第2学年 技術・家庭科（技術分野）

1 技術分野の目標

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目標としています。

2 学習計画と内容

	学 習 内 容	ア ド バ イ ス
後 期	【エネルギー変換の技術】 ・生活や社会で利用されているエネルギー変換の技術についての基本的な理解と生活や社会、環境とのかかわりについて学習します。	・エネルギー変換の仕組みについて理解し、身の回りでどのように利用されているかを理解できるようにしましょう。
	・電気、運動、熱などについての科学的な原理や法則について理解し、エネルギー変換や伝達などに関わる基礎的な技術の仕組みについて学習します。 ・安全、適切な製作、点検及び調整等ができるようにします。 ・テーブルタップの製作 ・あんどんの製作 ・カップウォーマーの製作	・エネルギー変換を利用したものづくりを通して知識を深め、電気工具の名称や使い方を覚えましょう。
	・生活や社会に果たす役割や影響に基づいたエネルギー変換の技術の概念が理解できるように学習します。 【情報に関する技術】 ・生活や社会で利用されている情報の技術についての基本的な理解とそれらに係る技能について学習します。	・これからのエネルギーと社会や環境との関りについて考え、自分なりの考え方が持てるようにしましょう。 ・進んで情報の技術と関わり、主体的に理解し、技能をみにつけましょう。

3 評価の観点・資料・評価

【評価の観点】 次の3つの観点についてABCで評価します。 ○知識・技能 ○思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度
【評価の資料】 ・授業参加の様子 ・定期テスト ・実習の取り組み方 ・作品 ・提出物 など
【評定】 観点別評価を総合して、学期ごとに5段階で評価します。 また、1年間を通して3学期に5段階学年評価を行います。

技術・家庭科（家庭分野） 第2学年

1. 目標

- ・健康と食事の関わりについて理解させ、食生活を見直すきっかけをつくる。
- ・簡単な日常食の調理ができる。
- ・食品の栄養的特質や中学生の1日に必要な食品の種類と概要を知る。
- ・食品の品質を見分け用途に応じて選択できる。

2. 学習計画と内容

学期	学習内容	学習を進めるうえでのアドバイス
1	<p>1. 栄養素の種類と働き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養素の種類と働きを知り、中学生の時期の栄養の特徴について考える。 <p>2. 食品の栄養的特質</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品群別摂取量の目安を用いて中学生に必要な一日分の献立を考えられるようにする。 <p>3. 食品の選択</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生鮮食品の特徴を理解し、用途に応じて適切に選択することができるようにする。 ・食品添加物の種類や使用目的について知り、適切な食品の選択ができるようにする。 <p>4. 食生活の安全と衛生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全や衛生に留意し食品や調理器具などの適切な管理ができる。 <p>5. 簡単な日常食の調理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な日常食の調理ができる。 ・基本的な調理技術を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の役割を考え、健康を考えた食生活を実践できるようにしよう。 ・食品に含まれる栄養素の種類と働きについて、理解しよう。 ・一日分の献立作成ができるようにしよう。 ・食品の品質を見分ける方法を理解し、適切な選択ができるようにしよう。 ・食品添加物の種類や使用目的、安全性と問題点について考えよう。 ・基本的な調理技術を習得しよう。 ・食品や調理器具の適切で安全な取り扱い方を理解しよう。
2	<p>『豊かに楽しく食べる』</p> <p>1 日常食をよりよくしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちの食生活の課題 ・地域の食材を使った料理 <p>『気持ちよく住む』</p> <p>1. 住居の機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気候風土や文化に合った住まいの形について考える。 ・住まいの働きと役割がわかる。 <p>2. 安全で快適な室内環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・快適な住まいについて考えることができる。 ・住まいの働きと役割がわかる。 ・室内の安全について考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の食生活を振り返り、問題点を考えてみよう。 ・「郷土料理」について学習し、調べたことについて発表しよう。 ・快適な住空間のための、部屋の間取りを考え、家族との関わり方について考えてみよう。 ・快適な室内環境を整備するための工夫を考えてみよう。 ・家庭内の事故原因を知り、安全対策を考えよう。

1. 観点別の評価方法（各観点の評価資料）

	観点	評価の資料
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養素の種類と働きについて理解することができる。 ・調理器具の適切な取り扱いを理解し基本的な調理操作ができる。 ・学習プリント・実習・テストなど
②	思考・判断・表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活について課題をみつけ解決を目指すための工夫ができる。
③	主体的に学習に取り込む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に意欲的に取り組み学習した内容を家庭生活の中でも実践していこうとしている。 ・学習プリント・課題の提出など

グローバル・スタディ科 第2学年

1 目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーション能力を図る資質・能力を育成する。

コミュニケーションの能力のGOAL

○相手（話して、書き手）の伝えたいことを正しく理解したうえで、自分の考えや思いを伝えることができる。

○日本や日本の文化に誇りを持ち、自分の言葉で発信することができる。

2 学習計画と内容

学期	学習内容（題材名）	学習を進める上でのアドバイス
1	<ul style="list-style-type: none"> 辞書を読んでみよう Classroom English Making New School Trip Plans 情報をつなげ、メモをとろう International Youth Meeting 天気予報を聞こう 電話をかけよう スープの材料 Taste of Culture 文章の構成を考えよう Our Project4 	【文法事項】 <ul style="list-style-type: none"> ① 未来表現 / 接続詞 when, if ☆予定や推測について言えるようにしよう ☆いつ何をするのか説明できるようにしよう ☆条件の内容について言えるようにしよう ② must, have to など / 接続詞 that ☆義務や命令について言えるようにしよう ☆自分の考えを言えるようにしよう ③ 不定詞 / 動名詞 ☆自分のしたいことや行動の目的を言えるようにしよう ☆動作について言えるようにしよう
2	<ul style="list-style-type: none"> Writing a Report いろいろな形容詞 Introducing Japan 楽器の名前 Work Experience レストランで食事をしよう Live Life in True Harmony 会話をつなげ、深めよう こんな人になりたい Writing a Report いろいろな前置詞 	【文法事項】 <ul style="list-style-type: none"> ④ 比較級・最上級 ☆2つのものを比べて説明できるようにしよう ☆もっとも程度が高いものについて説明できるようにしよう ⑤ how to / look + 形容詞 / 動詞 + 人 + もの ☆どのように～するのか言えるようにしよう。 ☆人やものの様子を言えるようにしよう。 ⑥ 受け身 ☆されていることや、されたことについて言えるようにしよう
3	<ul style="list-style-type: none"> A Gateway to Japan 相手に分かりやすい説明をしよう 空港アナウンスを聞こう A Hope for Lasting Peace 説得力のある主張をしよう メールで近況報告をしよう この1年で得た「宝もの」 町の風景 Summarize the Story Reading Steps 	【文法事項】 <ul style="list-style-type: none"> ⑦ 現在完了形 / 現在完了進行形 ☆現在につながっている過去の出来事を言えるようにしよう。 ☆過去のある時に始まった状態が現在まで続いていることを言えるようにしよう。

3 観点別の評価方法

	観 点	評 価 の 資 料
①	知識・技能	定期テスト、小テスト
②	思考・判断・表現	定期テスト、パフォーマンステスト、小テスト
③	主体的に学習に取り組む態度	拳手や発言、コミュニケーション活動への取り組み、積極的に英語を使ってコミュニケーションをしよう・続けようとする態度・意欲、パフォーマンステスト、課題の提出等